

江東未来会議
第4分科会（まちづくり・環境分野）
第3回 議事概要

日時：平成19年11月1日（木）19:00～21:10

場所：第72・73・74会議室

参加人数：18人

1. 開会

2. 事務局からの連絡事項

3. 本日のワークショップの進め方について

【事務局より資料説明】

○事務局

- ・本日の検討に先立ち、次回予定している施設見学会について、実施有無を含めて、見学先やスケジュールを本日の最後に討議いただく予定である。そのために、グループに分かれてテーマごとに討議する中で、施設見学の必要性や、見学先の候補（2件程度を抽出）を検討し、全体討議で発表してほしい。なお、施設見学会の実施有無を検討する理由は、他の分科会で議論の機会が少ないため議論にあてたいという意見があり、施設見学会は必須ではないので、実施のしかたについて、分科会ごとに参加者方に意向を確認するものである。

○参加者

- ・第1回で、欠席者も議論に参加できるよう、事前に次回の会議のテーマと回答形式を教えてほしいとお願いしたが、回答形式が送られてこない。また、前回の議事概要も事前に見ることができず、欠席者が議論に参加できない状況である。

○渋谷コーディネーター

- ・参加者のご意見をいただく配慮が不足している点があった点はお詫びするとともに、なるべく参加できるように事務局は対応してほしい。

○参加者

- ・前回の討議結果をみると、自然環境に関する意見が少ない。「水辺」にも問題点はある。議論の過程と、水辺以外の緑をどのテーマで取り扱うのか知りたい。また、環境とあるが、持続可能性を前提として議論されたのかどうか知りたい。

○渋谷コーディネーター

- ・ 前回はグループに分かれて、江東区の良い点、悪い点を書き出し、全体討議を行って、議論の多かったテーマを3つに絞り込んだ。環境は広く捉えれば、横断的なテーマなので、全体に覆い被せることになった。個別のみどりは水辺の中で議論できると思う。

○参加者

- ・ 前回の討議で、環境については、地球温暖化に関する意見はあったが、持続可能性という表現は出ていない。

○渋谷コーディネーター

- ・ グループに分かれた経緯を知ってもらうことで、より重点テーマの中身を掘り下げていくことになる。

○参加者

- ・ 結論を出すまでに、今回を含めて何回議論ができるのか。

○事務局

- ・ 仮に次回施設見学を行った場合、第5回が問題の洗い出し、第6回が提言とりまとめ、第7回が最終確認を予定しており、今回を含めて議論の機会は4回である。

○参加者

- ・ 前回、Iグループの討議結果であげられた開発が重点テーマから落ちているが、まちづくりの将来像を描く上でははずせないテーマだと思う。
- ・ Iグループであげられた意見は並べ替えられて、3テーマの中に内包されている。

○渋谷コーディネーター

- ・ 修正が必要な点はこの場でいただければ、適宜修正していく。ただ、開発は民間開発もあり、区民の議論では手の届かないことになりがちである。

○参加者

- ・ 今回の議論が反映される江東区基本構想の期間は平成21年からを対象としている。ここをターゲットにして議論していくことが必要だと思う。
- ・ 施設見学の必要性は、参加者が現状をどこまで認識しているか、また10年後の将来像を見据える上で足りないものは何かという視点によって変わってくると思う。
- ・ 江東区の現状をみると、東京のベッドタウンであること、東京の流通網のベース基地であること、ごみの最終処分場が存在することがポイントだと思う。この延長で将来像を描いていくか議論したい。

○渋谷コーディネーター

- ・ 施設見学は、将来像のイメージを共有するための見学と、現状認識を深めるための見学が考えられる。参加者の方はすでに現状を良く知っているなので、今見学を行うよりも、議論を進めて、将来像が絞りこまれた段階で見学する方が良いかもしれない。

○参加者

- ・ テーマ別に見学した方が良いと思う。防災に関わる場所として、例えば、緊急避難地域

が避難先としてふさわしいかどうかに関心があるので、このような場所をみたい。

○渋谷コーディネーター

- ・見学先は、グループごとに議論していただき、全体討議で調整して決定していくこととしたい。

○参加者

- ・グループごとに関連してくる内容もあるので、グループごとに議論した後で、グループ間で意見交換をしたい。
- ・グループ間の移動は可能なのか。また、自由にできるのか。

○渋谷コーディネーター

- ・最後に必ず全体討議を行うので、その場で、グループ間の関連事項は討議していく。
- ・グループ間の移動は、毎回変わるのはいくつかは、基本的には参加者の意向に沿って進めていきたいと考えており、移動は可能である。今回テーマごとに分かれて議論をしていただき、次回グループを移動可能とするかどうかは、議論の流れをみて決定することとしたい。

4. ワークショップ

(1) 作業

参加者が、「水辺」「防災」「交通」の3グループに分かれ、個人が、テーマごとの課題を付箋紙に記入した。その後、付箋紙に記入した内容を模造紙に貼り付けながら議論を行い、関係性の高い意見をグルーピングした。そして、グループごとにタイトルをつけた。

【グループ毎に作業】

5. 次回の進め方

○事務局

- ・冒頭の全体討議が長かったため、今回はグループ討議までで終了し、グループ討議結果の発表と全体討議は次回の冒頭に行うこととしたい。
- ・欠席の方にご意見をいただけるように、次回の検討の進め方、討議テーマは事前にお知らせする。その際に、欠席時の回答様式が分かるように説明資料をつける。また、前回の議事結果の概略を、進め方の中に記載する。
- ・次回を施設見学会にあててしまうと12月まで議論の時間が空いてしまうので、当初予定していた、次回の施設見学会の会を議論の時間にあてて、11月下旬に実施したいと考えている。施設見学会の実施有無を含めて検討は次回以降行うこととする。

一日程調整を行い、次回開催日を以下の通り決定した。

第4回 11月22日(木) 19:00~21:00

(以上)